

各地の文化を紹介

川薩地区広域文化祭開催

川薩地区の広域文化祭が10月30日、31日の両日おこなわれ、作品展示がB&G海洋センターアリーナで、芸能発表が改善センターのホールでそれぞれ開催されました。

この大会は今回が30回目の開催で、本町文化協会の坂元文夫会長が「ステージ、観客一体となって、すばらしい生きがいと優しさを見つけて心ゆくまで楽しんでください。」とあいさつしました。

舞台芸能発表には、各市町から10組が出場し、本町からは上中福良疱瘡踊り保存会の疱瘡踊り、映美会による三味線演奏が発表されました。

上中福良の疱瘡踊りは一時途絶えていましたが、熱心な努力で復活。昭和52年町無形文化財の指定を受けました。保存会では毎月1回定期的に練習を重ねられています。

当日は12名が、紫の頭巾を被り、三味線の音色に合わせ、息の合った演技を披露し、会場からも盛んな拍手が起こ

っていました。



▶上中福良疱瘡踊り保存会による幽玄な踊り

一足先に社会人 宮之城農高職業体験学習

10月25日から29日にかけて宮之城農業高校二年生による職業体験学習がおこなわれました。

職業体験学習は、将来の職業選択に役立ててもらおうとおこなわれているもので、求名の自動車整備工場ハリーオートでは、本町の作田佳優君、小坂浩司君の2名が研修をおこないました。

2人はハリーオートの羽有洋二さんから、自動車整備の基本や車検について学び、実際に自動車の各部品やその機能について説明を受けていました。

今回の職業体験は2人にとってとても勉強になったようで、作田君は「自動車の仕組みについて細かなところを教えてもらってよかった。」また小坂君は「鹿児島市の陸運事務所まで行って車検の仕方を習い参考になった。将来は自動車整備士も視野に入れてみたい。」と話していました。



▶羽有さん(左)から自動車の仕組みについて学ぶ小坂君(中央)と作田君

食べられそうだけど

このキノコは11月12日に橋掛の満尾則彦さんの竹林で撮影されたもので、縦横の長さが40センチと30センチほどで高さが20センチ。黄色で竹の切り株に寄生していました。経済課林務係によると、キノコの種類は、キシメジ科のサマツモドキではないかとのことで人によつては中毒で下痢を起こすため、食べないほうがよいそうです。

満尾さんは、「こんなキノ

コが生えているのは、初めて見ました」と驚いた様子で話されました。



ん。途中で待ち時間の長いトラックションもありましたが、友達同士で話をしているとすぐに時間が過ぎて自分達の番になりました。その後は思いっきり楽しめて、とても爽快感がありみんないい気分になりました。この修学旅行では、多くのことを学ぶことが出来たし、友達とも忘れられない思い出が出来ました。歴史について、平和について学んだ大切なことを忘れずに、これからも学び続けたいと思います。また、これからの学校行事や毎日の生活で、友達を大切にしてみんなと楽しく過ごす自信も出来ました。僕にとつてとてもいい修学旅行になりました。

〔詩〕

夏

中津川小三年 植村 友貴君
夏は、かぶと虫がいっぱい いっぱい、いるよ。
夏は、あつすぎだよね。
夏のたいよう
ぎんぎら あつすぎだ。
きせつは、すごいなあー。